



第8号(平成 26 年 7 月 18 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三歩 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難の代表的な事例を原則的に1週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

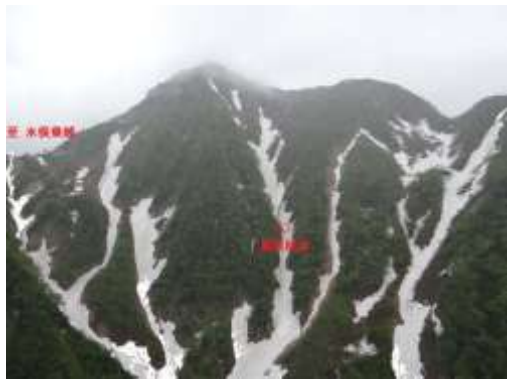
山岳遭難発生状況(平成 26 年 1 月 1 日～7 月 13 日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出等	遭難者計
平成 26 年	85	17	1	48	40	106
平成 25 年	93	23	3	55	29	110
前年比	-8	-6	-2	-7	11	-4

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	21	24.7%	7	0	11	12	30
	後立山	17	20.0%	4	0	11	7	22
	その他	9	10.6%	1	0	4	5	10
	小計	47	55.3%	12	0	26	24	62
中央アルプス	3	3.5%	0	0	3	1	4	
南アルプス	1	1.2%	0	0	0	1	1	
八ヶ岳連峰	15	17.6%	3	0	11	3	17	
その他の山岳	19	22.4%	2	1	8	11	22	
計	85	100%	17	1	48	40	106	

先々週から先週の主な遭難事故

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	状況
6月30日	北アルプス 槍ヶ岳	26歳	男性	滑落	負傷	槍沢登山ルートを誤り、別の雪渓上を登山中、足を滑らせ滑落、負傷
<p>北アルプス槍ヶ岳の山小屋に向かった東京都足立区居住の男性 26 歳が、夕方になっても山小屋に着かないと届出があり、午後 5 時 56 分、県警へりにより捜索し、滑落している男性を発見・救助して松本市内の病院に収容しました。男性は右大腿部打撲の怪我を負っています。</p>						
7月2日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	28歳	男性	道迷い	無事救出	中岳方向に下山中、道に迷い立場川方向に下り、行動不能
<p>単独で八ヶ岳連峰阿弥陀岳に登頂し赤岳に向かおうとした神奈川県川崎市居住の男性 28 歳が、道に迷い行動不能となったと救助要請があり、午後 4 時 06 分、県警へりにより救助しました。</p>						
7月5日	北アルプス 涸沢	57歳	男性	疲労凍死傷	死亡	涸沢カール内の「フカスの岩小屋」で滞在中に低体温症により、死亡
<p>7月2日から、親族と2人で北アルプス涸沢に入山して宿泊していた安曇野市居住の男性 57 歳について、4日山小屋関係者から救助要請があり、県警へり及び北ア南部遭対協隊員が出動し、同日午後 6 時 37 分、松本市内の病院に搬送しましたが死亡が確認されました。</p>						

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	状況
7月13日	北アルプス 奥穂高岳	52歳	女性	滑落	負傷	天狗の科尔から下山中、雪溪上でバランスを崩し滑落、負傷
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>13日午前8時32分、単独で北アルプス奥穂高岳に入山し、下山中の北佐久郡居住の女性52歳がバランスを崩して滑落し負傷したと救助要請があり、県警山岳遭難救助隊員及び北ア南部地区遭対協隊員が出動し、午後6時38分、女性を救助して上高地において救急隊員に引継ぎました。女性は、全身打撲等の怪我を負っている模様です。</p> </div>						

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-toursim@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。